



祝

二十歳

令和8年

おめでとう 20歳になります

実行委員インタビュー

未来へ羽ばたけ 286名の二十歳が集う

令和8年1月11日(日)、中央公民館において、「令和8年 境町二十歳のつどい」が挙行されました。二十歳の健やかな心身の成長と成人としての門出を祝福するため、式典では、橋本町長をはじめ、多くの来賓の方や恩師の方などが列席し、二十歳になられた皆さんに向け、お祝いの言葉を述べられました。

また、二十歳の皆さんに、今年開催の「利根川大花火大会」への招待と、「廻転鮨 銀座おのぞら 境町店」の食事券を町からプレゼントするサプライズ発表がありました。式典後には豪華な景品が当たる抽選会などのアトラクションも行われ、大いに盛り上がりました。

恩師や旧友との再会に笑顔があふれ、家族の方々と記念撮影をしたり、昔を懐かしんだり、にぎやかな様子うかがえ、それぞれ二十歳になった想いを胸に、新たな第一歩を踏み出しました。

境一中恩師・関口克英先生による贈る言葉



境二中恩師・林久悦先生による贈る言葉

二十歳の皆さんへお祝いの言葉を述べる橋本町長

謝辞



二十歳のつどい
実行委員長
吉野 哲平さん

この二十年間、私たちは学生時代を共にした友人、温かく見守ってくれた家族や先生方、そして地域の皆様がいたことで、今日という日を迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、私は大学進学のため、一人暮らしをしています。そのような中、境町に帰省すると、何気ない地元の風景や、久しぶりに再会した友人、地域の方々との交流を通して、改めて境町のぬくもりを感じております。その度に、楽しかった日々の思い出が蘇り、心が安らぎます。これら一つ一つの出来事が、私たちを成長させ、自己を形成する大切な糧となりました。

去年、日本は戦後から八十年を迎えました。さらに、現代の日本では「人生百年時代」と言われていますが、私たちはこの長い人生に対して、一切妥協することなく、平和で公正な社会を築き、一瞬一瞬を大切に生きていく使命を担っています。その中で、大切に育ててくれた家族や苦楽を共にした友人など、今まで育んできた全ての出会いと経験を糧に、それぞれの道を歩んでいきたいと思っております。また、このような時代だからこそ、人と人とのつながりを当たり前に思わずに、大切にしていける所存です。

結びになりますが、目まぐるしく移り変わる世の中を、不撓不屈の精神の下、ここに集う私たち一人一人が強く生き抜いていくことをここに誓い、謝辞といたします。

【一部抜粋】

出来事

令和8年「二十歳のつどい」の対象者は、男性160名、女性126名の合計286名です。対象者が生まれた平成17年4月2日から平成18年4月1日までの主な世相は、3月～9月まで愛知県で「愛・地球博」(愛知万博)が「自然の叡知」をテーマに開催され、国内外から多くの来場者が訪れ、環境意識の高まりを感じる年となりました。また、イタリアトリノで開催された「トリノ冬季オリンピック」では、フィギュアスケートで荒川静香選手の金メダル獲得に、日本中が沸きました。

アトラクション
澤田 心美さん
(上町)

町長をはじめ、役員職員や地域の方々、家族や友人の支えに感謝しています。抱負は「挑戦を止めないこと」です。多くの経験を通して自分の可能性を確かめ、前向きに歩んでいきたいです。



アトラクション
内海 太希さん
(旭町)

周囲への感謝と責任を忘れずに行動できる大人になりたいと思います。副実行委員長として式典に関わった経験を生かし、これから人と協力しながら成長していきたいです。



アトラクション
石綿 佑果さん
(蛇池)

二十歳を迎え、これからの過ごし方を意識するようになりました。大人としての責任を持ち、周囲への感謝を大切に、自分のペースで成長していきたいです。



閉式の言葉
生沼 彩花さん
(上小橋)

二十歳という節目を迎え、これまで支えてくださった方々への感謝を忘れず、将来の目標に向けて地道な努力を重ね、自らの選択と行動に責任を持って大人になることを抱負いたします。



祝電披露
寺門 風海さん
(宮本町)

私にとって二十歳は学生を終える年となり、大きく環境が変わり不安はたくさんありますが、どの様な環境でも負けず私らしく生きていきたいと思えます。またいつか私は両親を超えられる様な素敵な親になって恩返しをしたいです。



祝電披露
小島 にこさん
(旭町)

二十歳になり、ついに大人の仲間入りをしましたが、実感はあまりありません。完璧な大人にはまだなれそうにありませんが、笑いながら成長できる二十歳を目指します!!



来賓紹介
菅谷夢叶さん
(みらい平)

二十歳を迎え、大人としての責任を自覚し、一つ一つの行動に意味を持って過ごしたいと思います。また、感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人間になれるように努力して参ります。



司会
斉藤 翼さん
(松岡町)

自分の言葉と行動に責任を持ち、常に成長を意識して歩んでいきたいです。感謝の心を忘れず、挑戦を恐れぬ姿勢で、周囲から信頼される大人になりたいです。



司会
中村 葉さん
(旭町)

これまで支えてくれた家族や周りの方々への感謝を忘れず、持ち前の明るさと元気を大切に生きていきたいです。そして、いつか大好きな人と家庭を築き、子どもを授かった時には、母のように愛情深く、しっかりとした女性になりたいです。



ピアノ伴奏
根本 心那さん
(伏木)

支えてくれた人への感謝を忘れず、食を通して人々の健康や生活を支えながら成長していきたいです。また、これまで支えてくれた両親へ、一日でも早く恩返しができるよう歩んでいきたいです。



閉式の言葉
村上 虹光さん
(松岡町)

栄養士として社会に出ます。食を通して人々の健康や生活を支えながら成長していきたいです。また、これまで支えてくれた両親へ、一日でも早く恩返しができるよう歩んでいきたいです。



謝辞
吉野 哲平さん
(宮本町)

二十歳になって、これから先いろいろな出来事が待っていると思いますが、家族や友人、地域の方々の縁を大切にしながら毎日を大切にしたいと思います。

